

令和7年2月市議会 建設水道委員会資料

第8号議案 令和6年度長崎市一般会計補正予算（第10号）

[8款 土木費 4項 港湾費]

2目 県施行事業費負担金

・港湾費負担金 港湾事業費

繰越明許費補正 2~25

[8款 土木費 5項 都市計画費]

1目 都市計画総務費

・離島航路維持対策費 26~27

・【単独】新幹線整備推進事業費

九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金

繰越明許費補正 28~30

2目 都市開発費

・継続費補正 31~48

7目 県施行事業費負担金

・都市計画費負担金 JR長崎本線連続立体交差事業費

繰越明許費補正 49~51

まちづくり部

令和7年2月

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額 千円
ページ	款	項	目		
44～45	8 土木費	4 港湾費	2 県施行事業費 負担金	港湾費負担金 港湾事業費	301,297

1 事業費及び財源内訳

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
港湾費負担金 港湾事業費	補正後 予算現額	千円 845,160	千円 —	千円 —	(※1) (※2) 千円 768,700	千円 —	千円 76,460
	支出予定額	509,613	—	—	462,800	—	46,813
	繰越明許額 第9号補正 (1月臨時議会分)	34,250	—	—	(※2) 34,200	—	50
	繰越明許額 第10号補正 (今回分)	301,297	—	—	(※1) 271,700	—	29,597
	繰越明許額 (合計額)	335,547	—	—	305,900	—	29,647

※1 公共事業等債90%(交付税措置率22.2%)、過疎対策事業債100%(交付税措置率70.0%)
緊急自然災害防止対策事業債100%(交付税措置率70.0%)

※2 補正予算債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債)100%(交付税措置率70.0%)

2 繰越事由

繰越事由及び繰越箇所の完了予定時期…別紙のとおり

3 令和6年度繰越内容

事業名		R6年度 補正予算 事業費	内訳(単位:千円)				
図面 番号	地区名		国費	県費	市費	市費内訳	
						地方債	一般財源
国直轄事業(改修事業)		負担割合	5.5/10×1.16	2,495/10	1,125/10		
①	松が枝地区(移転補償)	250,000	159,500	62,375	28,125	25,300	2,825
国直轄事業(改修事業)		負担割合	5.0/10×1.16	2,95/10	1,25/10		
②	松が枝地区(航路浚渫)	100,000	58,000	29,500	12,500	11,200	1,300
補助事業(改修事業)		負担割合	5/10	3.75/10	1.25/10		
③	松が枝地区(移転補償)	200,000	100,000	75,000	25,000	22,500	2,500
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)		負担割合	1/3	1/2	1/6		
④	茂木地区(道路改良)	21,000	7,000	10,500	3,500	3,200	300
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)		負担割合	4/10	4.5/10	1.5/10		
⑤	松が枝地区(移転補償、岸壁改良)	410,000	164,000	184,500	61,500	55,300	6,200
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)		負担割合	1/3	1/2	1/6		
⑥	皇后地区(緑地改良)	4,500	1,500	2,250	750	1,400	100
⑦	小ヶ倉柳地区(緑地改良)	4,500	1,500	2,250	750		
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)		負担割合	4.5/10	4.125/10	1.375/10		
⑧	松が枝地区(移転補償)	779,000	350,550	321,338	107,113	145,900	16,268
⑨	元船、常盤・出島地区(浮棧橋改良)	242,400	109,080	99,990	33,330		
⑩	元船地区(ターミナル改良)	78,000	35,100	32,175	10,725		
⑪	元船地区(港湾整備検討支援)	80,000	36,000	33,000	11,000		
社会資本整備総合交付金事業(改修事業)		負担割合	11/20	4/10	0.5/10		
⑫	高島地区(護岸改良)	40,000	22,000	16,000	2,000	2,000	0
県単独事業(港湾海岸改修事業)		負担割合	-	7.5/10	2.5/10		
⑬	神ノ島地区(野積場改良)	6,627	-	4,970	1,657	1,600	57
県単独事業(港湾海岸改修事業)		負担割合	-	9.3/10	0.7/10		
⑭	小江地区(護岸改良)	47,824	-	44,476	3,348	3,300	48
合計		2,263,851	1,044,230	918,324	301,297	271,700	29,597

4 県施行事業箇所位置図



全体位置図

松が枝地区

長崎港 国直轄

番号	地区名	繰越理由	完了予定時期	
①	松が枝地区 (岸壁改良)	松が枝地区2バース化事業に関する移転補償について、地権者との交渉に不測の日数を要し、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.5月	
②	松が枝地区 (航路浚渫)	航路浚渫において、当初、雑石と想定していたが、浚渫したところ土砂が混入していることが判明し、分別・処理にあたっての調整に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R8.3月	

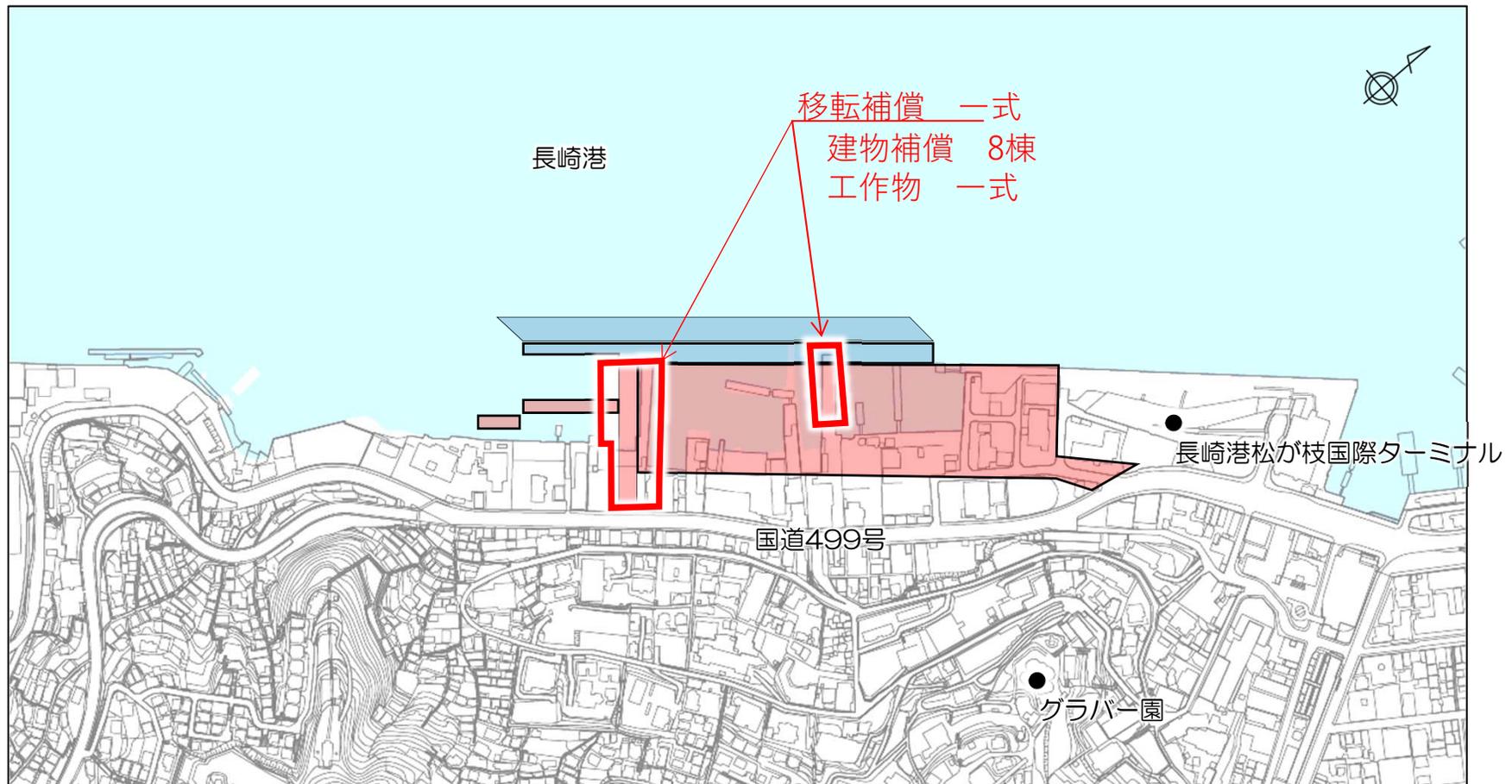
①岸壁改良
(移転補償 一式)

②航路浚渫
(浚渫工 一式)

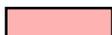
位置図

松が枝地区

①岸壁改良（移転補償 一式）



凡例

	……国直轄事業
	……県補助事業

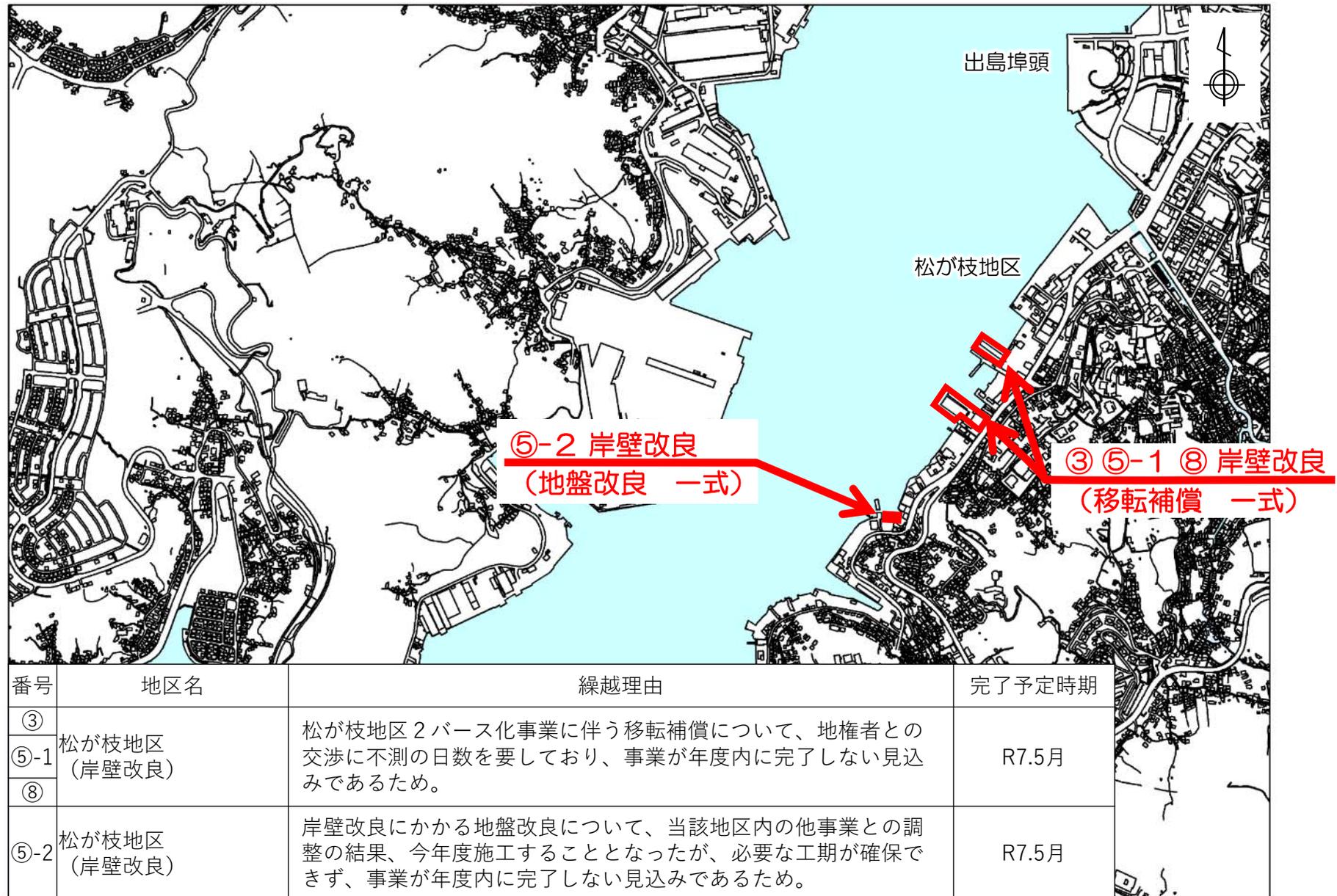
松が枝地区 ②航路浚渫（浚渫工 一式）



浚渫箇所（航空写真）

松が枝地区

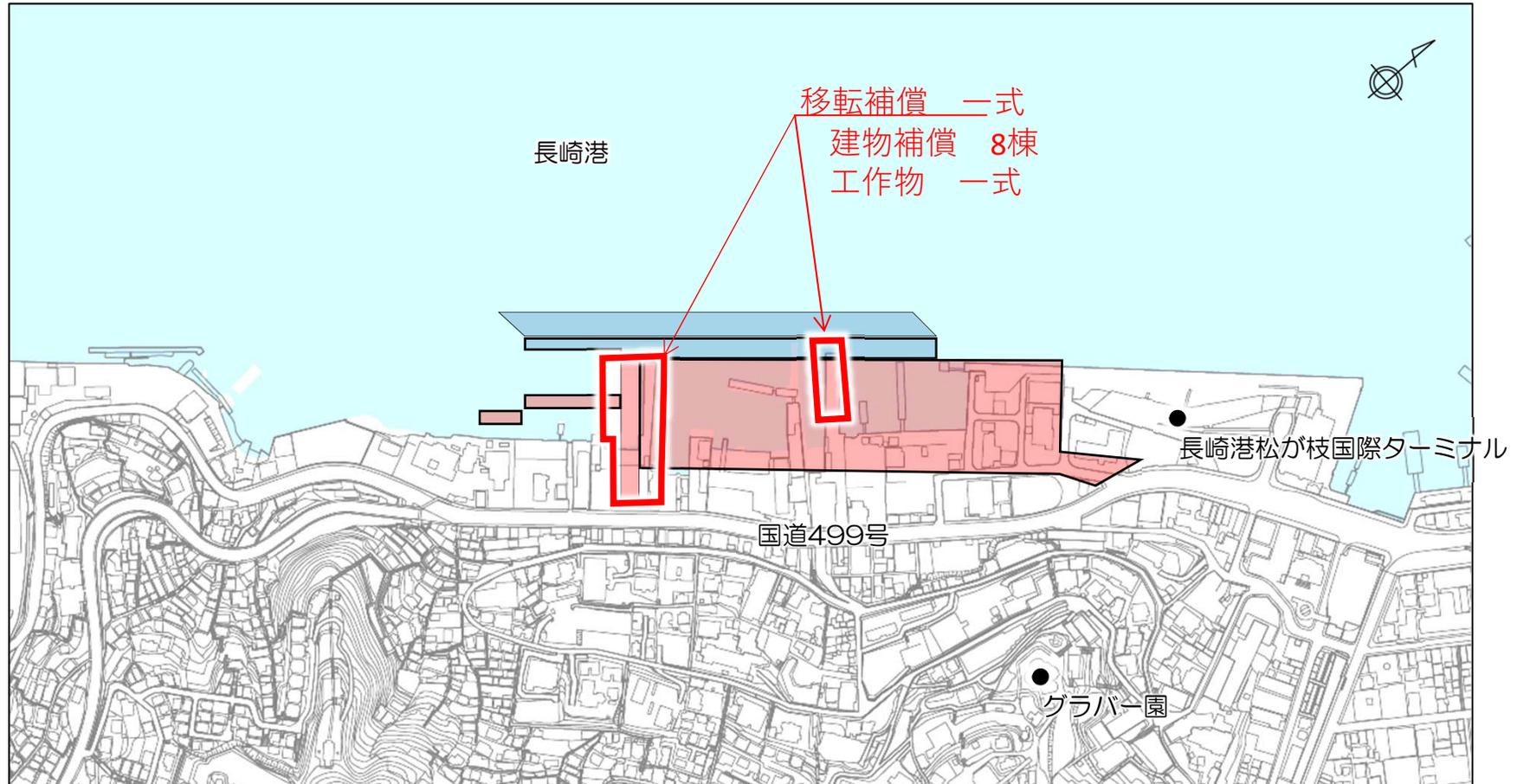
長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金



位置図

松が枝地区

③ ⑤-1 ⑧ 岸壁改良（移転補償 一式）



凡例

国直轄事業
県補助事業

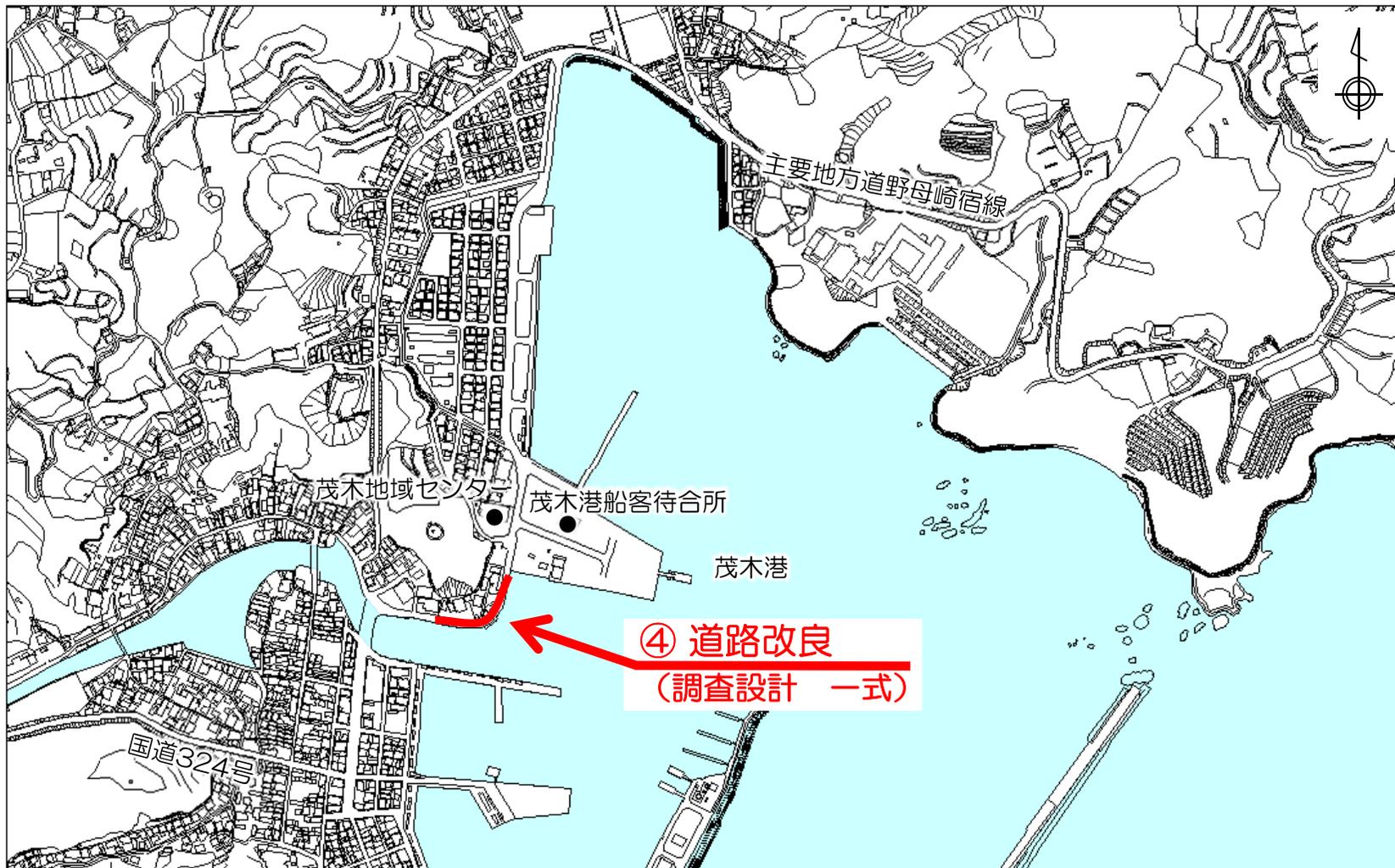
松が枝地区

⑤-2 岸壁改良（地盤改良一式）



茂木地区

茂木港 県事業 社会資本整備総合交付金



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
④	茂木地区 (道路改良)	道路拡幅において、当初、山側へ車道拡幅を予定していたが、地元との協議の結果、山側は歩道を整備し、海側に車道拡幅することになり、これらの調査設計に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.6月

位置図

茂木地区

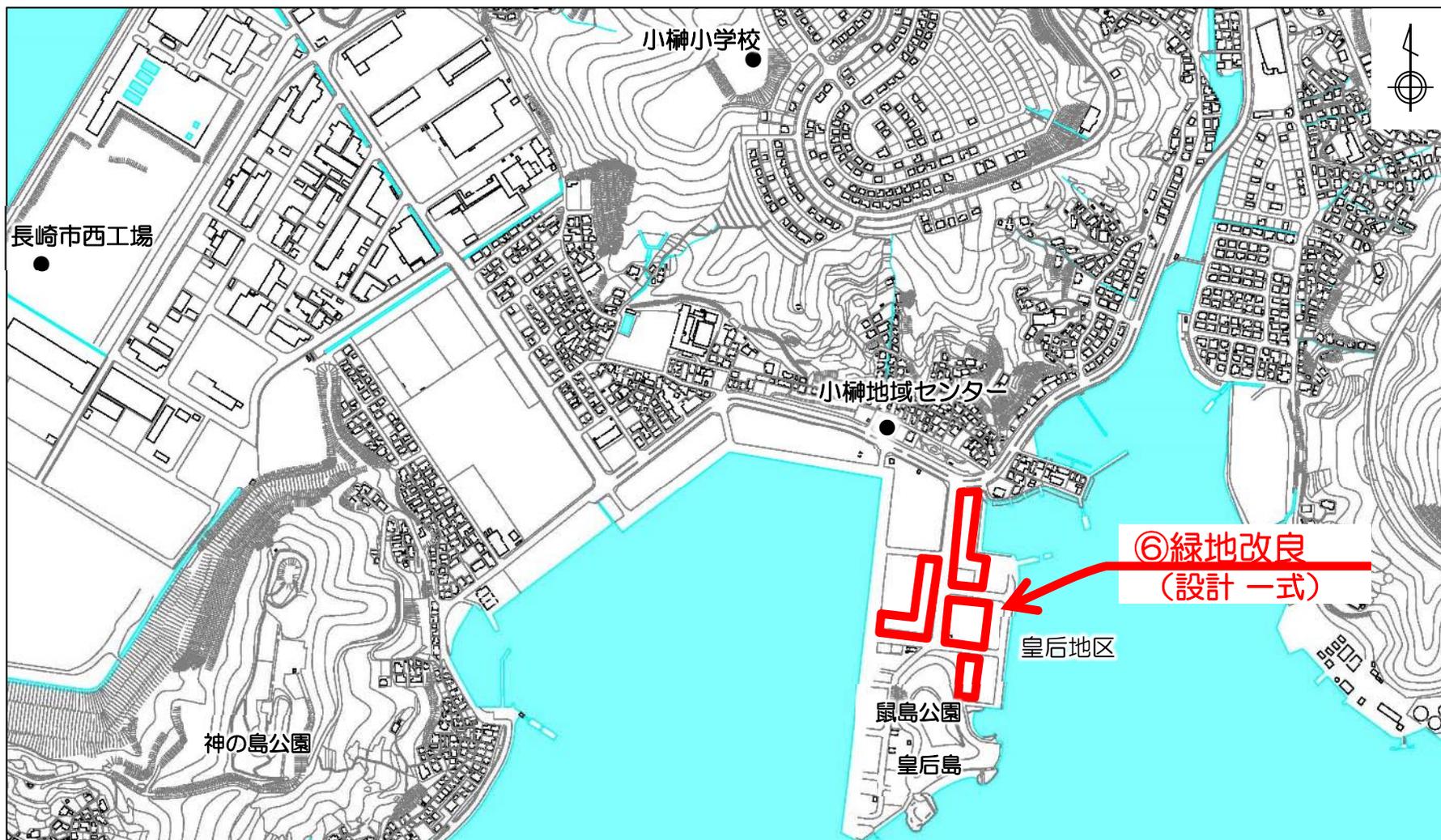
④ 道路改良（調査設計一式）



道路改良箇所付近の現況

皇后地区

長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
⑥	皇后地区 (緑地改良)	長崎港皇后地区緑地整備の計画について、地元との調整に不測の期間を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.5月

位置図

皇后地区

⑥緑地改良（設計一式）



緑地改良箇所現況

小ヶ倉柳地区

長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金



位置図

小ヶ倉柳地区

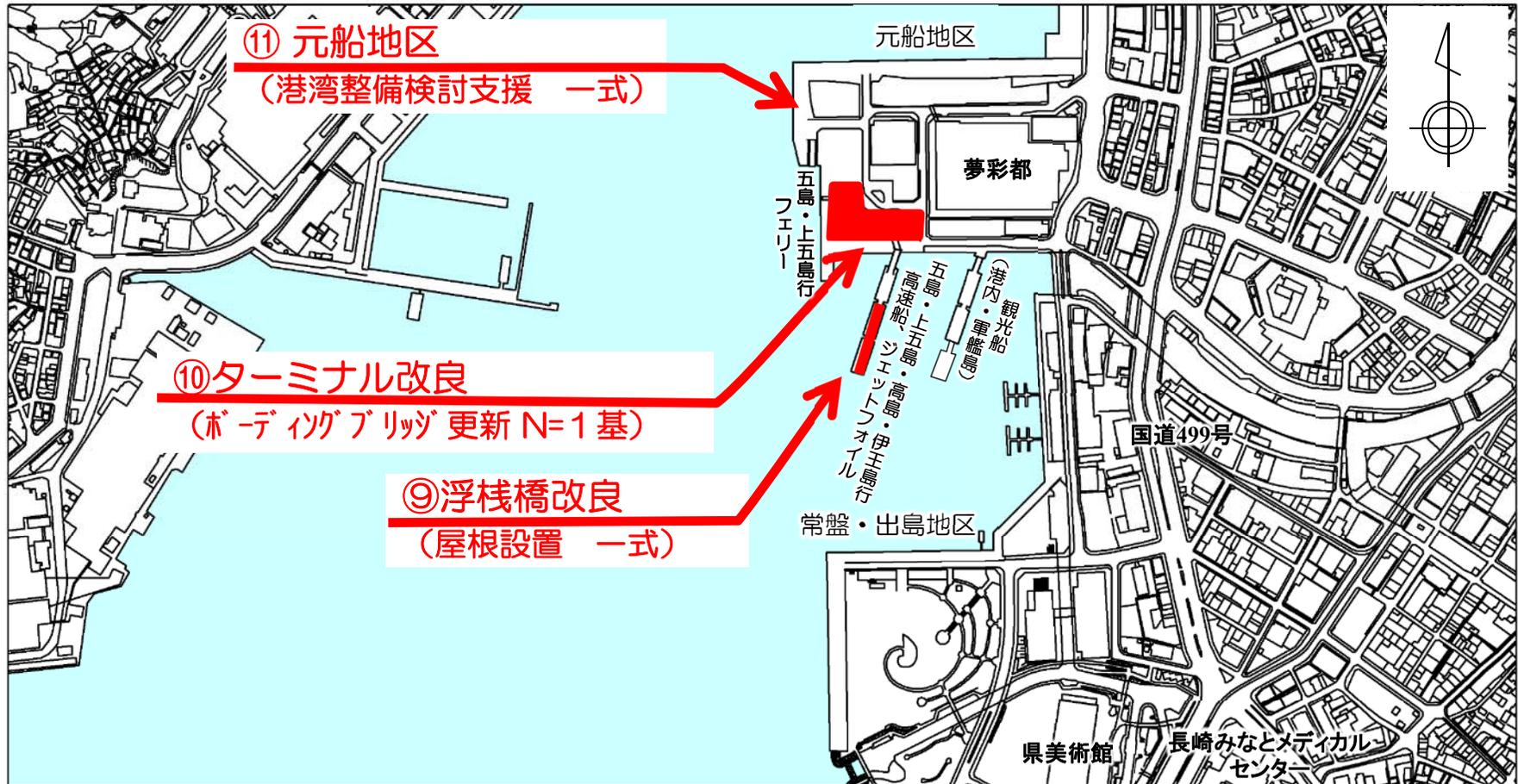
⑦ 緑地改良（設計一式）



緑地改良箇所の現況

元船、常盤・出島地区

長崎港 県事業 社会資本整備総合交付金



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
⑨	元船、常盤・出島地区 (浮棧橋改良)	元船地区の浮棧橋における屋根の設置について、関係者との調整に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.5月
⑩	元船地区 (ターミナル改良)	元船地区のボーディングブリッジ更新について、当該地区内の他事業との調整に不測の日数を要し、必要な工期が確保出来ず、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R8.3月
⑪	元船地区 (港湾整備検討支援)	PPP/PFI事業の導入検討において、関係機関との調整に不測の日数を要したことから、必要な工期が確保できず、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.9月

位置図

元船、常盤・出島地区 ⑨浮棧橋改良（屋根設置一式）



浮棧橋改良箇所 の 現況

元船、常盤・出島地区

⑩ ターミナル改良（ボーディングブリッジ更新 N=1基）



ターミナル改良箇所の現況

高島地区

高島港 県事業 社会資本整備総合交付金



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
⑫	高島地区 (護岸改良)	波浪の影響により、工事に必要となるミキサー船が稼働できず、水中部コンクリート打設に不測の日数を要したことから、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R7.5月

位置図

高島地区

⑫護岸改良（護岸工 L=10m）



護岸改良箇所の現況

神ノ島地区

長崎港 県単独事業



番号	地区名	繰越理由	完了予定時期
⑬	神ノ島地区 (野積場改良)	神ノ島地区の野積場において排水工が老朽化しており、一部区間で陥没等が生じていることが判明したため、今年度施行することとなったが、必要な工期が確保が確保出来ず、事業が年度内に完了しない見込みであるため。	R8.3月

位置図

神ノ島地区 ⑬野積場改良（調査設計一式）

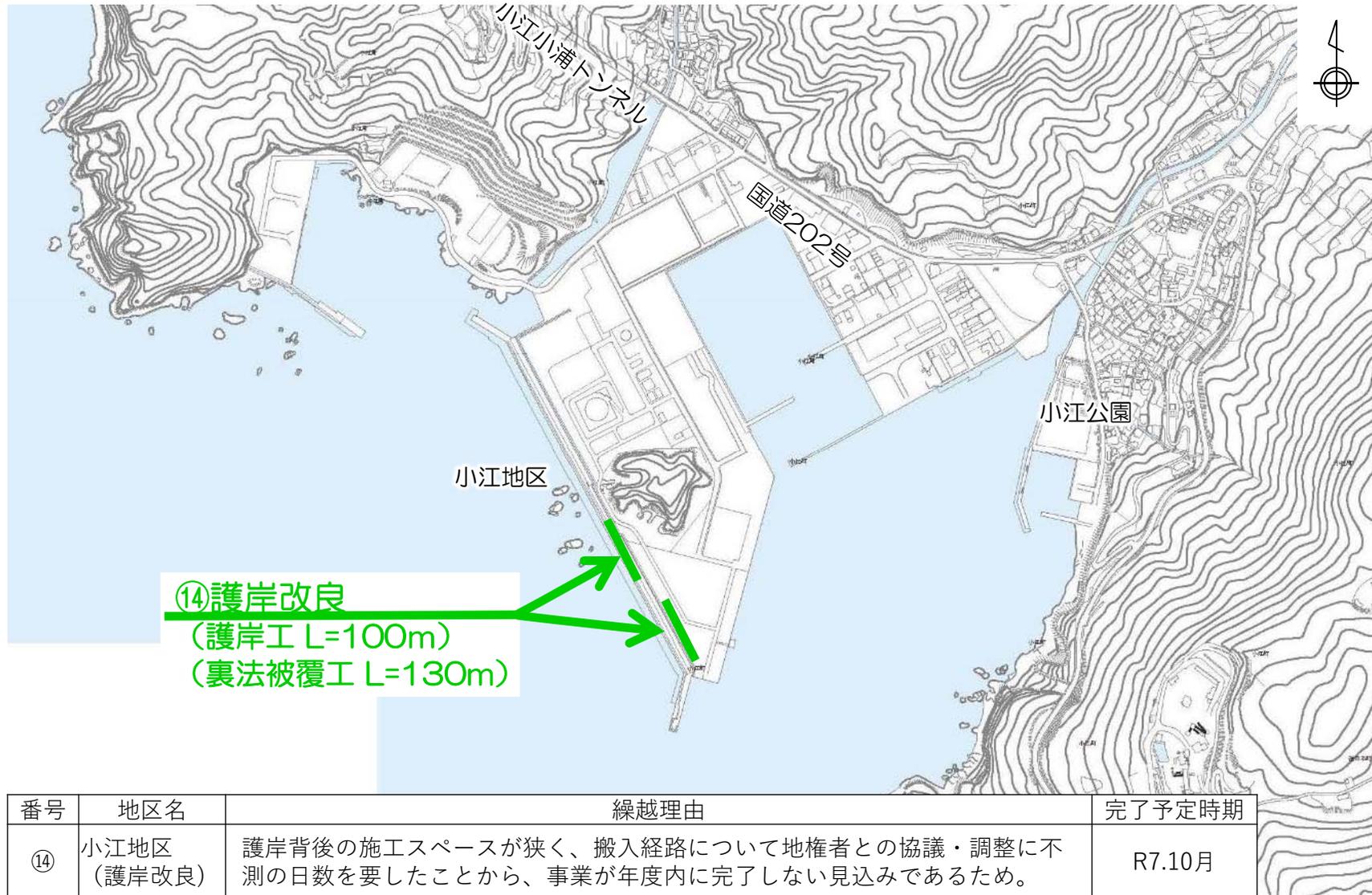


排水施設の老朽化

野積場改良箇所の現況

小江地区

長崎港 県単独事業



位置図

小江地区

⑭護岸改良（護岸工 L=100m 裏法被覆工 L=130m）



護岸改良箇所の現況

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
30～31	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画 総務費	1-1	離島航路維持対策費	13,333 千円

1 事業目的

「長崎～伊王島～高島航路」及び「池島～神浦航路」は、本土と離島を結ぶ唯一の公共交通機関であり、地域住民の生活を守るうえで欠くことのできないものであることから、運航のために必要な支援を行うもの。

2 事業内容

離島航路の補助金のうち、長崎～伊王島～高島航路において燃料費の支出が当初の見込みを上回ったことに加え、燃料費高騰分を補填する国の調整金が当初の見込みを下回ったことにより、補助金額が増となる見込みであるため増額補正するもの。

(1) 対象者 野母商船(株)、進栄丸

(2) 対象経費 離島航路の運航に係る純損失額

(3) 事業費内訳 旅 費 107千円

補助金 長崎～伊王島～高島航路 94,107千円

池島～神浦航路 15,915千円 事業費計 110,129千円

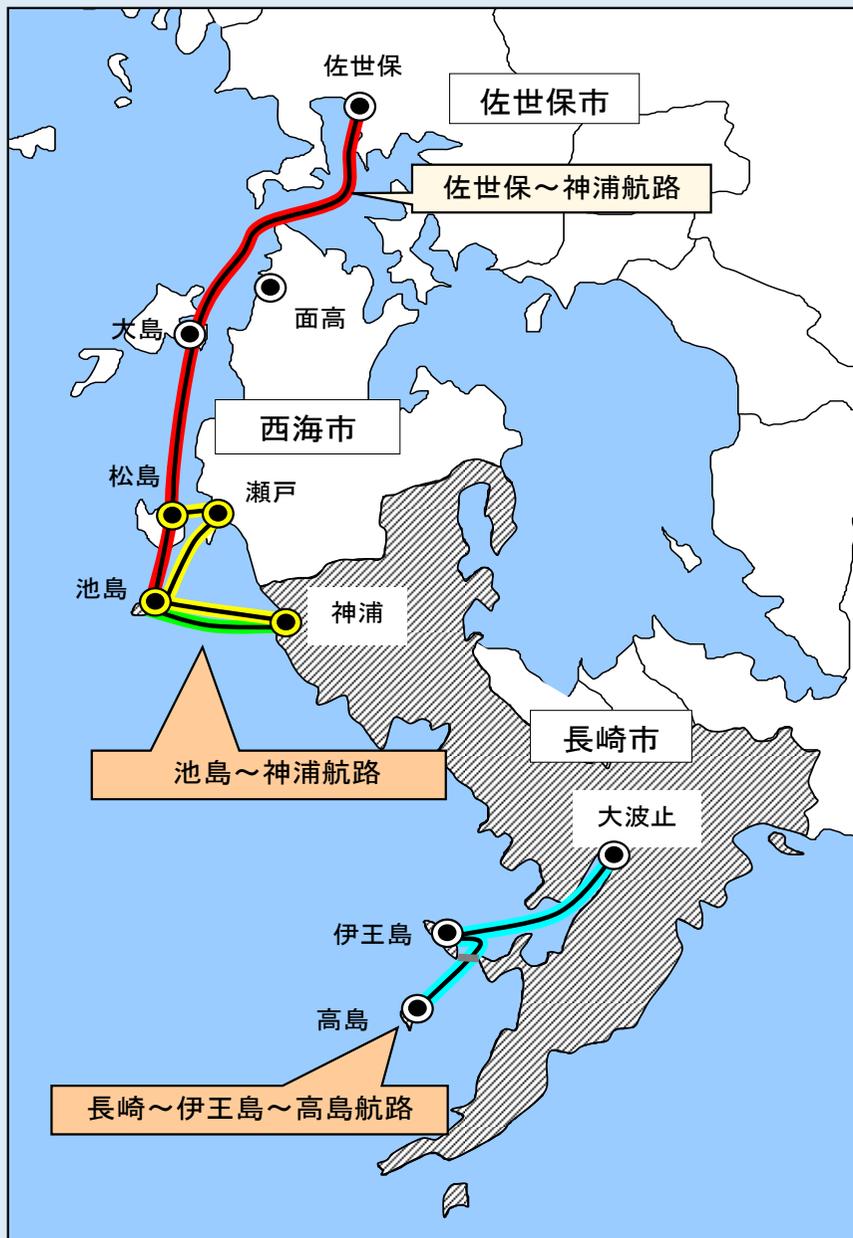
区分		①収入額	②支出額	③損失額 (②-①)	補助金 ※国の補助を除いて県と市で1/2ずつ		
					国(1/2以内)	県※	市※
長崎～伊王島 ～高島航路	当初予算④	123,360千円	393,128千円	269,768千円	81,554千円	94,107千円	94,107千円
	実績⑤	107,442千円	403,876千円	296,434千円	81,554千円	107,440千円	107,440千円
	差額(⑤-④)	-15,918千円	10,748千円	26,666千円	0	13,333千円	13,333千円

3 財源内訳

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補正前の額	千円 110,129	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 110,129
補正額	13,333	-	-	-	-	13,333
補正後の額	123,462	-	-	-	-	123,462

4 参考

■市内離島航路図



【凡例】	使用船舶	航路名称
	高速船	佐世保～神浦
	フェリー	
	海上タクシー	池島～神浦
	高速船	長崎～伊王島～高島

※佐世保～神浦航路は国、県の補助金が充てられていることから長崎市の負担は生じていない

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
44～45	8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画 総務費	【単独】新幹線整備推進事業費 九州新幹線西九州ルート建設事業 費負担金	千円 6,700

1 事業費及び財源内訳

区分	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
通常分	予算現額	千円 9,400	千円 —	千円 —	※1 千円 8,400	千円 —	千円 1,000
	支出予定額	2,700	—	—	2,400	—	300
	繰越明許額	6,700	—	—	6,000	—	700

※1 一般単独事業債 充当率90%(交付税措置率50%)

2 事業概要

- ・総事業費 約6,197億円(武雄温泉～長崎間)
- ・事業期間 平成24年度 ～ 令和7年度
- ・進捗率 約97%(令和6年3月末)

3 繰越事由

天神町付近の家屋にかかる騒音振動対策において、関係者との協議に時間を要したことにより、事業が年度内に完了しない見込みであるため。

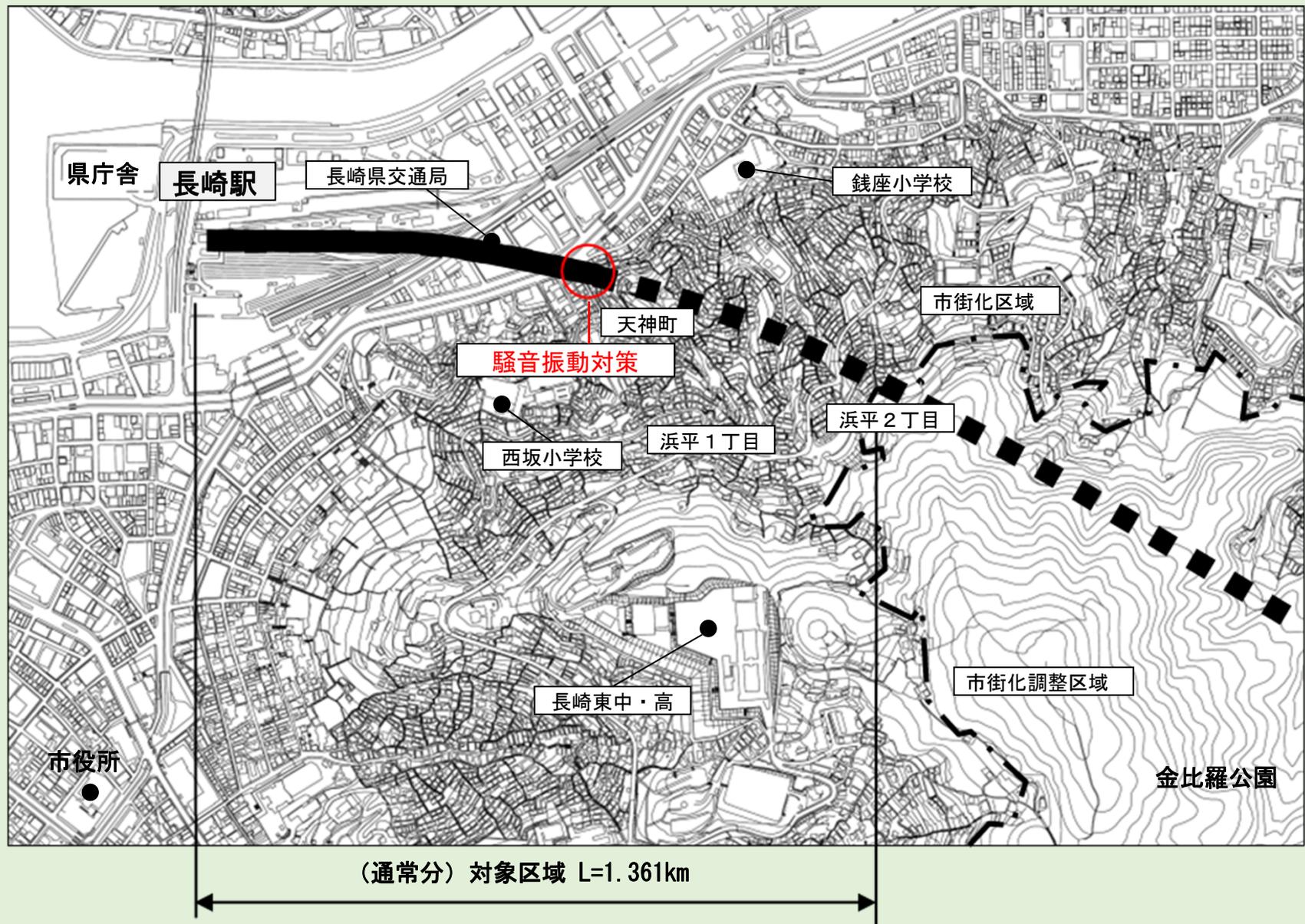
繰越箇所の完了予定時期 令和7年9月

4 事業スケジュール

項目	令和6年度	令和7年度
付帯工事	騒音振動対策	
	騒音振動対策	

●——● : 当初 ●- - -● : 変更(繰越)

5 負担区間・箇所 位置図(繰越予定箇所)



継 続 費		期 間	補正額
ページ	事 項		
38 ~ 39	土地区画整理事業 (長崎駅周辺地区)	令和4年度から 令和8年度まで	千円 1,802,400

1 事業概要

長崎駅周辺土地区画整理事業については、事業を計画的かつ段階的に進めて行くため、令和4年度から令和7年度までの期間において継続費を設定しているが、関係機関との協議・調整に時間を要したことから、継続費の設定期間を令和8年度まで延長するとともに、労務費・資材単価の上昇などによる増額要因が発生したため、継続費総額及び年割額の補正を行うもの。

2 継続費

- ・設定期間 令和4年度～令和8年度
- ・設定金額 6,522,100千円
- ・事業内容 委託料、工事請負費、補償費等
- ・事業スケジュール

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
土地区画整理事業	●—————●				
	●—————●				

————— : 当初 ————— : 変更

3 補正内容(主なもの)

項目	補正前	補正額	補正後	位置
①道路改良工事	360,000	408,500	768,500	東西線、中央通り線、東通り線 西通り線、国道202号
②広場整備工事	3,015,677	1,088,700	4,104,377	東口交通広場、多目的広場
③サイン等設置工事	211,100	109,200	320,300	東口交通広場、多目的広場
④汚染土対策工事	58,000	100,000	158,000	1街区、8街区
⑤移転補償(移転・損失補償)	340,000	70,000	410,000	1街区、ホテルニュー長崎

【理由】

共通 継続費設定後、労務費・資材単価の上昇や夜間工事の実施、土木工事積算基準の改定に伴う現場管理費の増、週休2日の適用により、労務単価や諸経費が増となったもの。

- ① 国道202号道路改良工事において、地中に埋設された電力ケーブルが支障となったことから新たに移設が必要となったこと、新幹線等の開業に向けて暫定供用するため、新たに仮舗装や補修が必要となり事業費が増となったもの。
- ②③ 国道202号歩道橋の詳細設計が進捗したことなどに伴い、既設の污水管の移設工事が新たに必要となったこと、新幹線等の開業に向けて広場等を暫定供用するため、新たに仮舗装や補修が必要となったことにより事業費が増となったもの。
- ④ 汚染土対策工事費について、数量が確定し再精査した結果、事業費が増となったもの。
- ⑤ 地元との協議により、1街区(仮換地予定地)を長崎駅東通り線橋梁架替工事に係る迂回路として使用する必要があるが、この間仮換地を使用出来ないため補償を行う(延長する)もの。また、ホテルニュー長崎の北側入口の上屋にかかる移転補償が追加となるもの。

4 継続費の内訳

(1) 年度内訳

(単位：千円)

事業年度	事業費			主な内容
	補正前	補正額	補正後	
令和4年度	1,160,800	0	1,160,800	駅前広場等設計、道路改良工事、駅前広場整備工事、埋設管工事、宅地造成工事、サイン設置工事、移設等補償
令和5年度	1,704,100	0	1,704,100	道路改良工事、駅前広場整備工事、埋設管工事、宅地造成工事、サイン設置工事、境界確定測量
令和6年度	1,517,000	0	1,517,000	道路改良工事、駅前広場整備工事、サイン設置工事、境界確定測量
令和7年度	337,800	848,800	1,186,600	道路改良工事、駅前広場整備工事、サイン設置工事
令和8年度	0	953,600	953,600	道路改良工事、駅前広場整備工事、サイン設置工事、境界確定測量
総事業費	4,719,700	1,802,400	6,522,100	

(2) 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	補正前	補正額	補正後
ア 委託料	215,000	15,000	230,000
広場設計	95,000	0	95,000
境界確定測量	70,000	0	70,000
換地計画書作成	50,000	15,000	65,000
イ 工事請負費	4,037,377	1,706,400	5,743,777
道路改良工事	360,000	408,500	768,500
広場整備工事	3,015,677	1,088,700	4,104,377
埋設管工事	171,600	0	171,600
宅地造成工事	221,000	0	221,000
サイン等設置工事	211,100	109,200	320,300
汚染土対策工事	58,000	100,000	158,000
ウ 移転補償(移転・損失補償)	340,000	70,000	410,000
エ 事務費	127,323	11,000	138,323
合 計	4,719,700	1,802,400	6,522,100

5 財源内訳

(単位：千円)

区分	事業年度	事業費	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			※1		※2	※3	
補正前の額	令和4年度	1,160,800	364,705	-	611,500	26,000	158,595
	令和5年度	1,704,100	244,850	-	152,300	1,180,300	126,650
	令和6年度	1,517,000	333,500	-	150,000	1,016,755	16,745
	令和7年度	337,800	108,950	-	33,500	66,564	128,786
	令和8年度	-	-	-	-	-	-
	合計	4,719,700	1,052,005	-	947,300	2,289,619	430,776
補正額	令和4年度	-	-	-	-	-	-
	令和5年度	-	-	-	-	-	-
	令和6年度	-	-	-	-	-	-
	令和7年度	848,800	184,800	-	128,000	646,706	-110,706
	令和8年度	953,600	310,320	-	244,800	-	398,480
	合計	1,802,400	495,120	-	372,800	646,706	287,774
補正後の額	令和4年度	1,160,800	364,705	-	611,500	26,000	158,595
	令和5年度	1,704,100	244,850	-	152,300	1,180,300	126,650
	令和6年度	1,517,000	333,500	-	150,000	1,016,755	16,745
	令和7年度	1,186,600	293,750	-	161,500	713,270	18,080
	令和8年度	953,600	310,320	-	244,800	-	398,480
	合計	6,522,100	1,547,125	-	1,320,100	2,936,325	718,550

※1：社会資本整備総合交付金（5.5/10）、都市構造再編集中支援事業補助金（5.0/10）

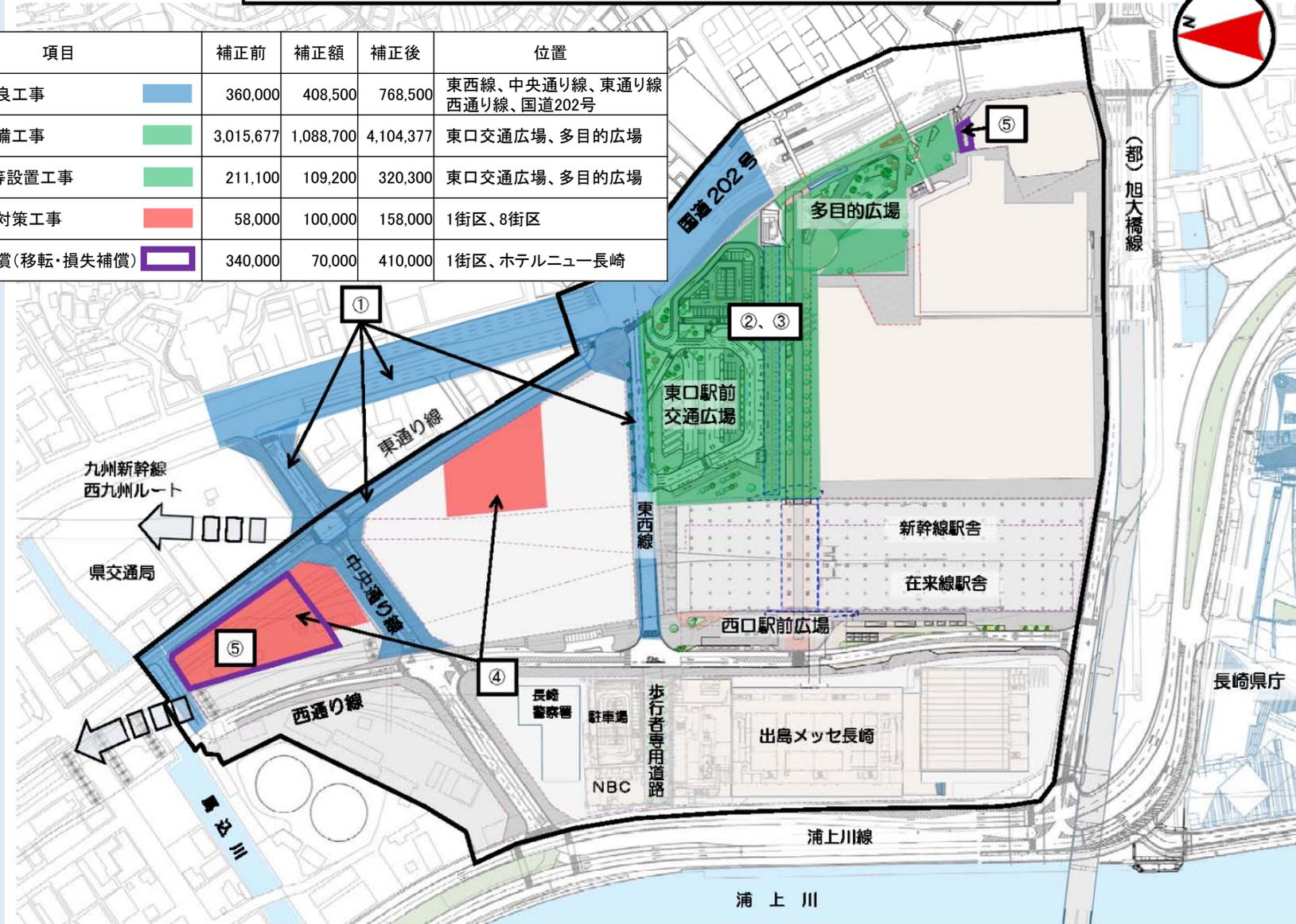
※2：公共事業等債 充当率90%（交付税措置率22.2%）、一般単独事業債 充当率75%（交付税措置率1%）

※3：東口駅前広場整備に係る県負担金、保留地売払収入

6 位置図

土地区画整理事業（長崎駅周辺地区）

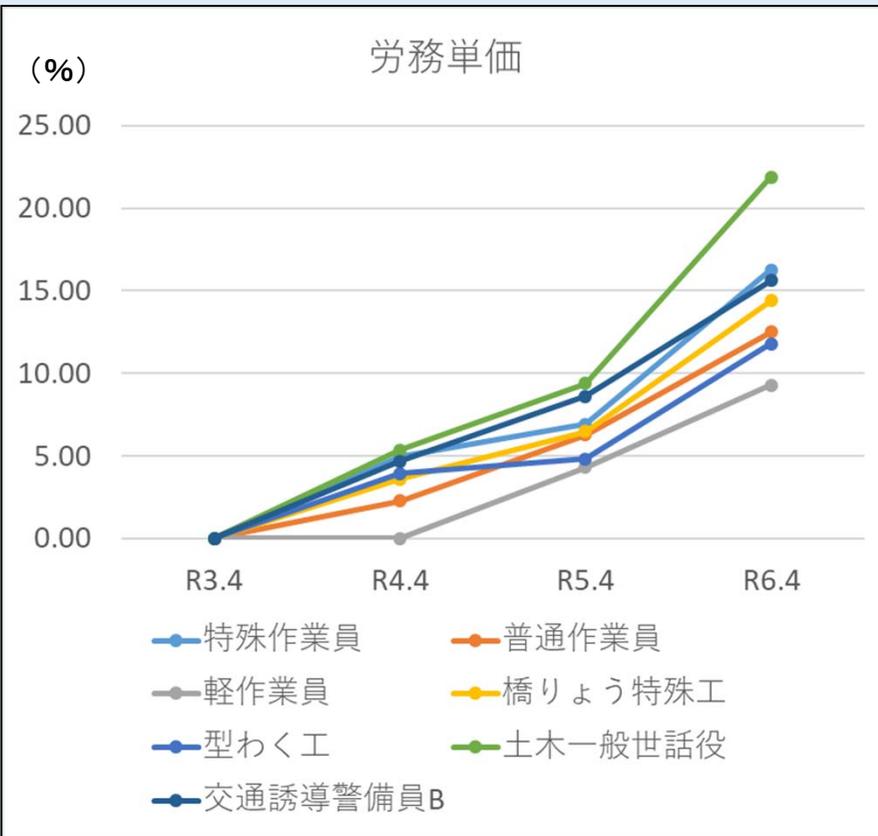
項目	補正前	補正額	補正後	位置
①道路改良工事	360,000	408,500	768,500	東西線、中央通り線、東通り線 西通り線、国道202号
②広場整備工事	3,015,677	1,088,700	4,104,377	東口交通広場、多目的広場
③サイン等設置工事	211,100	109,200	320,300	東口交通広場、多目的広場
④汚染土対策工事	58,000	100,000	158,000	1街区、8街区
⑤移転補償（移転・損失補償）	340,000	70,000	410,000	1街区、ホテルニュー長崎



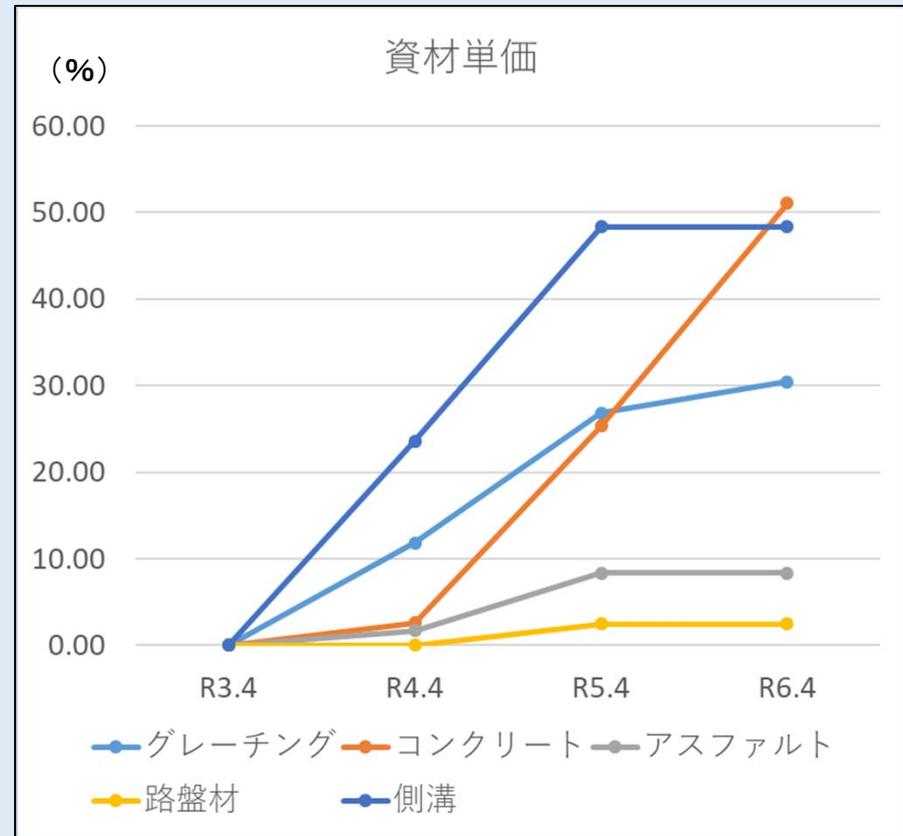
7 補正内容に係る資料等

共通（労務費、資材単価の上昇等）

● 労務単価の増



● 資材単価の増



※ 令和3年4月の単価をベースに増減率をグラフ化したもの

共通（労務費、資材単価の上昇等）

労務単価の増減率（長崎県）

名称・規格	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	
	単価 ①	単価 ②	単価 ③	単価 ④	増減率 (④-①)/①
特殊作業員	20,300	21,300	21,700	23,600	16.26%
普通作業員	17,600	18,000	18,700	19,800	12.50%
軽作業員	14,000	14,000	14,600	15,300	9.29%
造園工	20,000	20,200	20,900	22,900	14.50%
とび工	22,200	22,200	23,500	25,300	13.96%
石工	25,300	26,400	26,700	29,700	17.39%
鉄筋工	22,500	22,500	23,500	25,700	14.22%
塗装工	24,200	24,300	25,700	27,300	12.81%
橋りょう特殊工	27,800	28,800	29600	31,800	14.39%
橋りょう世話役	34,500	34,700	36700	38,300	11.01%
橋りょう塗装工	30,600	30,800	31100	32,500	6.21%
型わく工	22,900	23,800	24000	25,600	11.79%
大工	24,500	24,500	24500	25,700	4.90%
左官	23,400	24,800	25000	26,100	11.54%
土木一般世話役	22,400	23,600	24500	27,300	21.88%
交通誘導警備員 A	14,000	14,700	14900	15,900	13.57%
交通誘導警備員 B	12,800	13,400	13900	14,800	15.63%

共通（労務費、資材単価の上昇等）

材料費の増減率

名称	規格	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
			単価 ①	単価 ②	単価 ③	単価 ④	増減率 $\frac{④-①}{①}$
グレーチング	マルチスリット300用鋳鉄製 グレーチング枠蓋 t=70 細目 L=1000	組	22,000	24,600	27,900	28,700	30.45%
コンクリート	生コン 高炉 18-8-40 W/C=60%以下	m3	11,650	11,950	14,600	17,600	51.07%
アスファルト	再生アスファルト（密粒度）	t	12,000	12,200	13,000	13,000	8.33%
路盤材	再生クラッシャーラン 40~0mm	m3	2,050	2,050	2,100	2,100	2.44%
側溝	自由勾配側溝 縦断用 T-25 300×300×2000	本	8,090	10,000	12,000	12,000	48.33%
平板ブロックB	透水性コンクリート平板ブロック 292*592 (300*600) t=60	枚	1,040	-	1,090	1,100	5.77%
	モルタル仕上げコンクリート平板ブロック 292*592 (300*600) t=60	枚	928	-	980	999	7.65%
	ショット仕上げコンクリート平板ブロック 292*592 (300*600) t=60	枚	1,310	-	1,370	1,360	3.82%

共通（労務費、資材単価の上昇等）

●現場管理費の改定（R6.4）による増

純工事費1億円の工事の現場管理費の比較

工種区分	Jo (旧) ①	Jo (新) ②	増減 ② - ①
道路改良工事	28.70	29.75	1.05 %
公園工事	29.38	30.30	0.92 %
電線共同溝	32.40	33.61	1.21 %

$$\text{算定式 } J_o = A \cdot N_p b$$

J_o : 現場管理費率 (%)

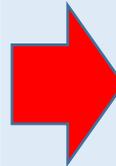
N_p : 純工事費 (円)

A 、 b : 変数値

工種別現場管理費率（旧）

工種区分	純工事費		10億円を超えるもの	
	700万円以下	700万円を超え10億円以下		
	2)の算定式より算出された率とする。 ただし、変数値は下記による			
	下記の率とする	A	b	下記の率とする
河川工事	43.43	1276.7	-0.2145	14.98
河川・道路構造物工事	42.54	458.2	-0.1508	20.13
海岸工事	27.79	113.9	-0.0895	17.82
道路改良工事	33.69	87.0	-0.0602	24.99
鋼橋架設工事	48.24	303.1	-0.1166	27.05
P・C橋工事	30.78	120.9	-0.0868	20.01
舗装工事	40.38	668.7	-0.1781	16.69
砂防・地すべり等工事	45.75	1370.6	-0.2157	15.69
公園工事	42.63	387.3	-0.1400	21.28
電線共同溝工事	60.36	2408.8	-0.2339	18.91
情報ボックス工事	54.04	1692.0	-0.2185	18.28
下水道(4)工事	35.05	204.8	-0.1120	20.11

改定



工種別現場管理費率（新）

工種区分	純工事費		10億円を超えるもの	
	700万円以下	700万円を超え10億円以下		
	2)の算定式より算出された率とする。 ただし、変数値は下記による			
	下記の率とする	A	b	下記の率とする
河川工事	44.05	1118.2	-0.2052	15.91
河川・道路構造物工事	43.11	402.3	-0.1417	21.34
海岸工事	28.11	100.3	-0.0807	18.84
道路改良工事	34.09	76.4	-0.0512	26.44
鋼橋架設工事	48.86	265.1	-0.1073	28.69
P・C橋工事	31.06	111.0	-0.0808	20.80
舗装工事	40.83	598.0	-0.1703	17.54
砂防・地すべり等工事	46.27	1229.5	-0.2081	16.48
公園工事	43.09	347.3	-0.1324	22.34
電線共同溝工事	61.19	2132.5	-0.2253	20.01
情報ボックス工事	54.60	1528.4	-0.2114	19.13
下水道(4)工事	35.56	178.6	-0.1024	21.39

共通（労務費、資材単価の上昇等）

●夜間単価の増

名称・規格	①昼間単価	②夜間単価	増減率 (② - ①)/①
土木一般世話役	27,300	40,950	50.00%

●週休二日の増

○週休二日の補正を行った場合の単価の比較

名称・規格	①補正なし	②週休二日補正	増減率 (② - ①)/①
土木一般世話役	27,300	29,665	8.66%

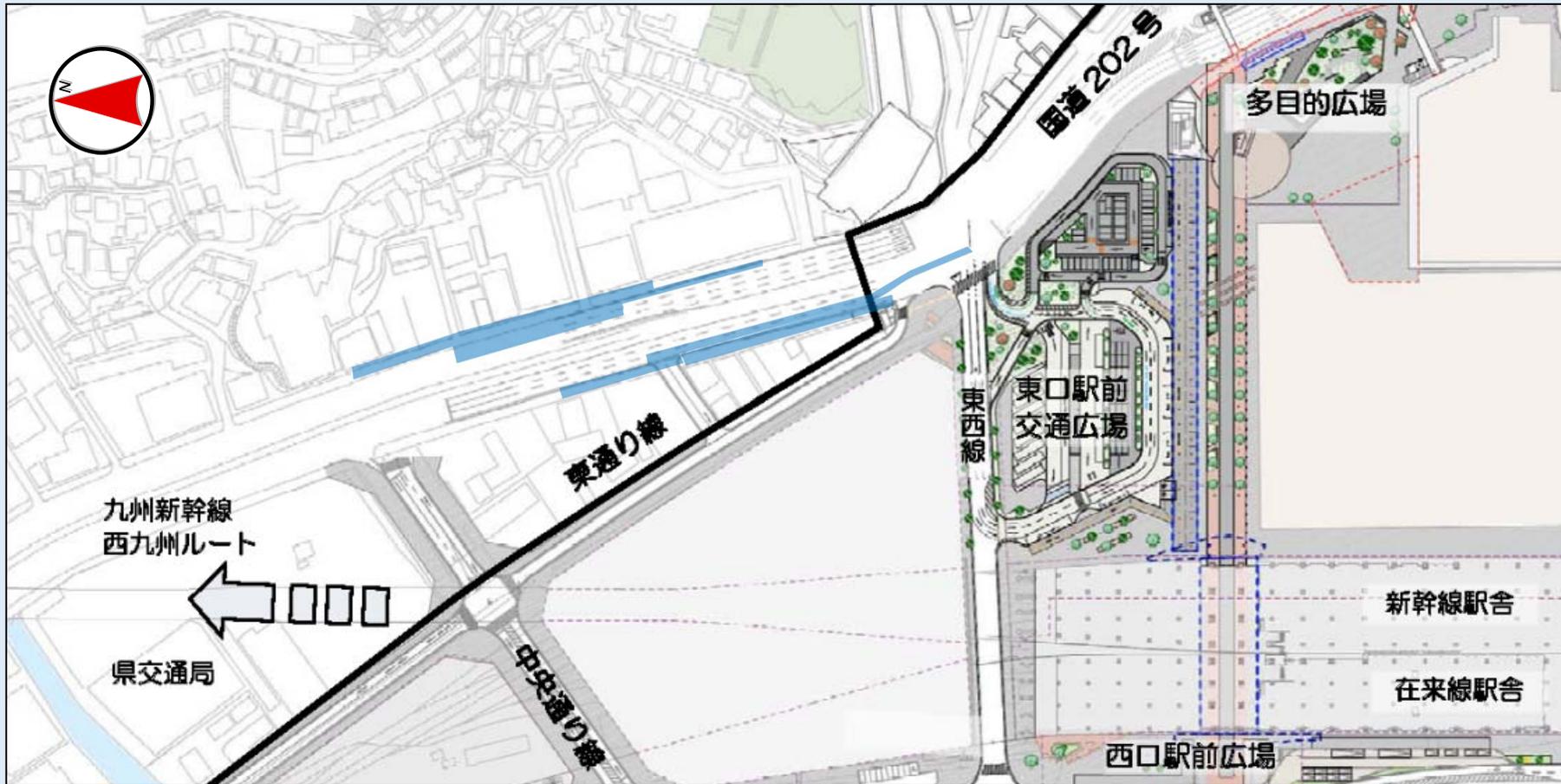
○週休二日の補正を行った場合の工事費の比較（単価補正も含む）

工事名	①R6.4(補正なし)	②R6.4(週休二日)	増減率 (② - ①)/①
長崎駅東口駅前交通広場整備工事（その7）	152,630,500円	158,219,600	3.66%
長崎駅東通り線道路改良工事（その2）	108,071,700円	111,705,000	3.36%
平均			3.51%

①道路改良工事について

●電力ケーブルの移設

国道202号道路改良工事において、地中に埋設された電力ケーブルが支障となったことから、新たに移設が必要となったもの。



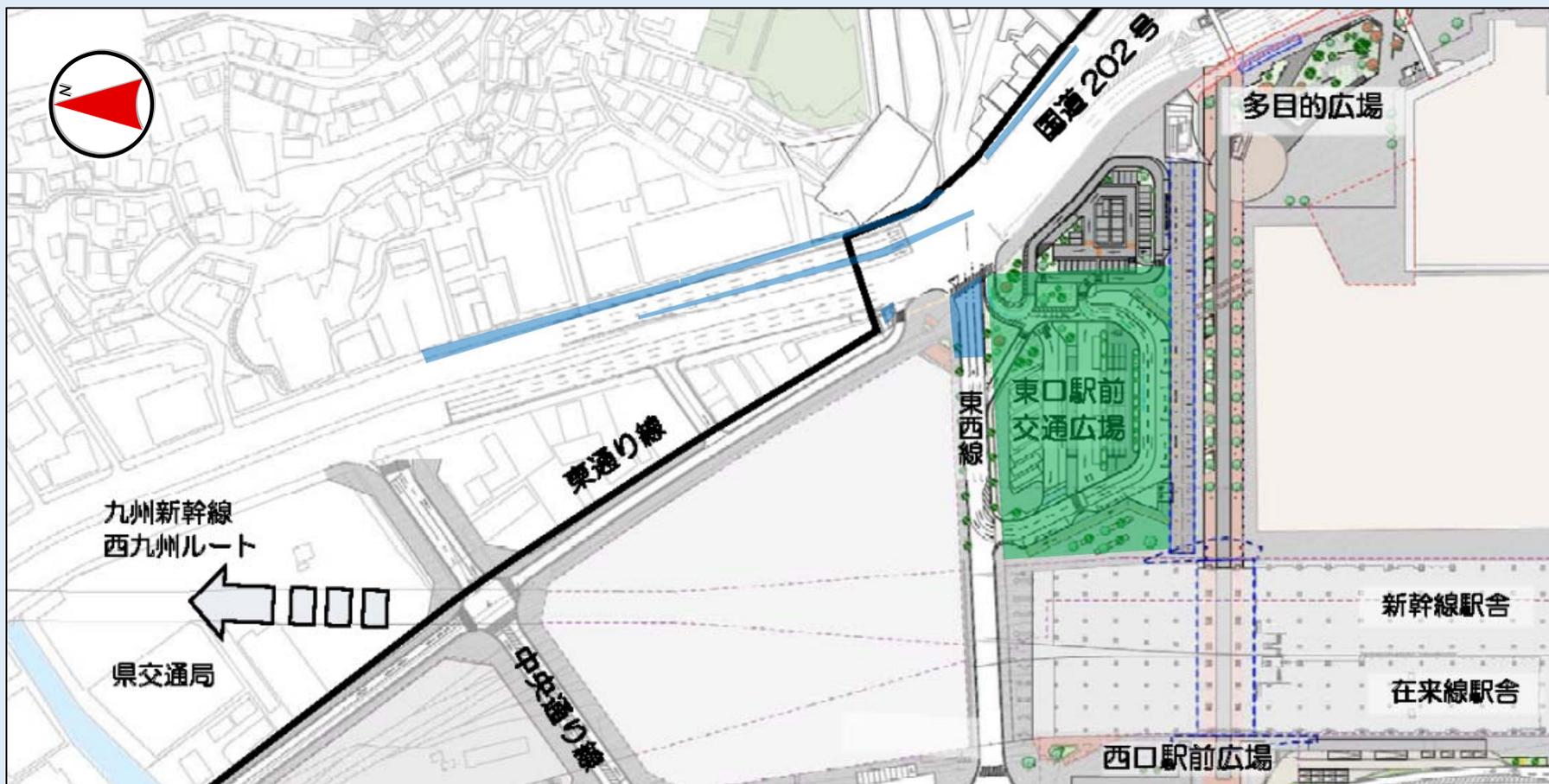
電線共同溝移設工事（電力）	【下り線】 約55,000千円	【上り線】 約62,000千円
電線共同溝移設工事（通信）	【下り線】 約16,000千円	【上り線】 約56,000千円
電力ケーブル移設補償	【下り線】 約37,000千円	【上り線】 約29,000千円

計 約255,000千円

①道路改良工事及び②広場整備工事について

●仮舗装（道路改良工事、広場整備工事）

新幹線等の開業にあわせ、車道や歩行者用通路を暫定的に供用するため、仮舗装を行ったほか、傷んだ舗装を緊急的に補修する必要が生じたもの。



道路改良工事

国道202号、長崎駅東西線 約1,700m²

約18,000千円 ※路盤含む

広場整備工事

東口駅前交通広場 約5,000m²

約20,000千円 ※仮舗装のみ

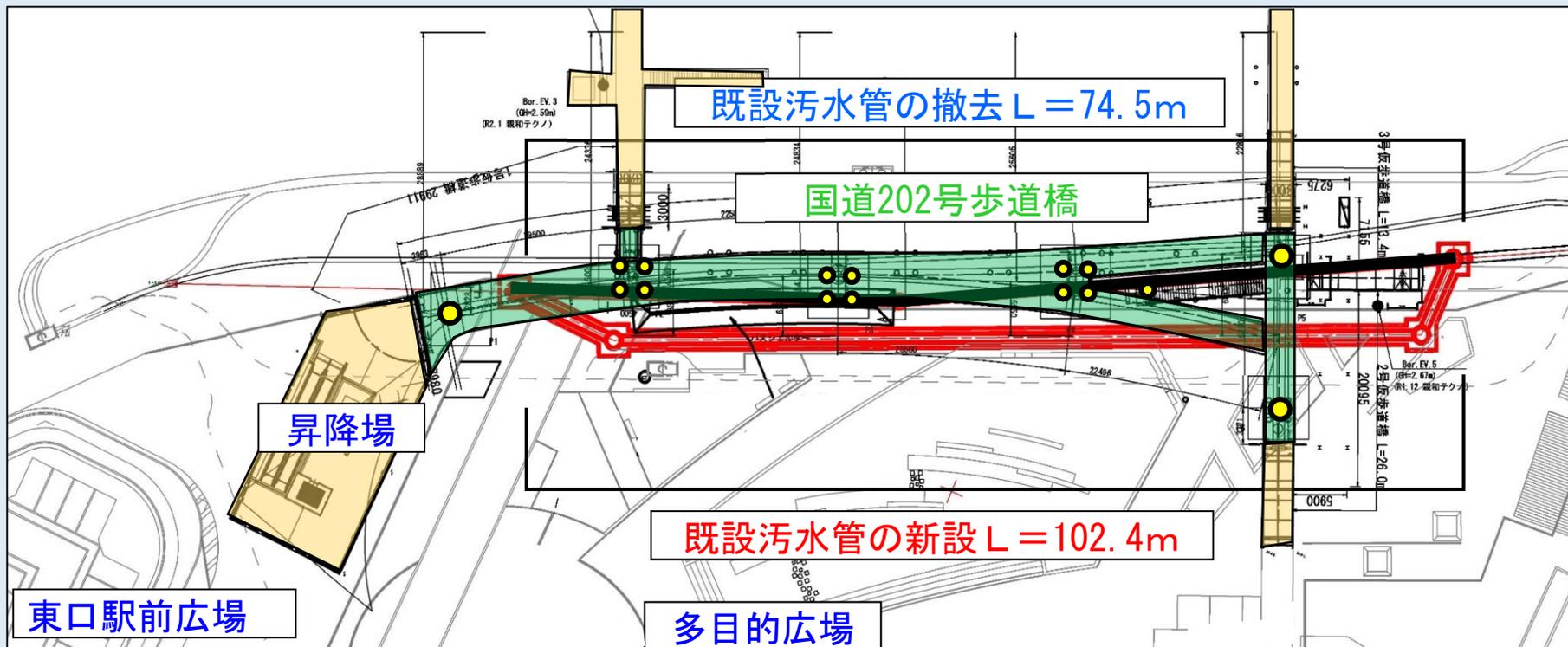
②広場整備工事について

●内径800㎜汚水管移設工事

国道202号歩道橋の下部工に支障となるため、既設汚水管を移設を行うもの。

- ・ R 4 ～ 5 年度に実施した国道202号歩道橋設計により支障となることが確定
- ・ R 5 ～ 6 年度に移設工事を実施（施工中）

工事費 約135,730千円

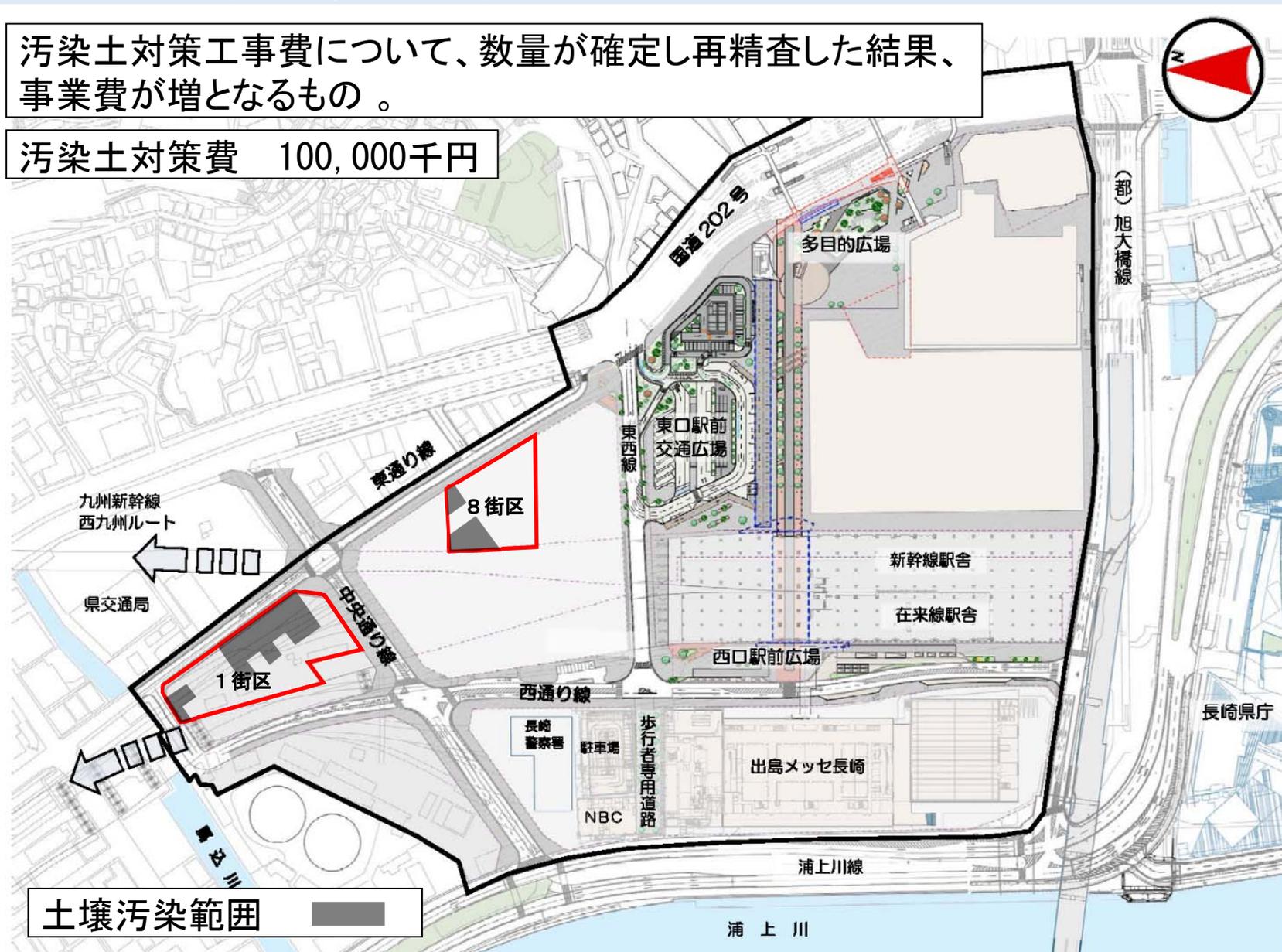


④汚染土対策工事について

●汚染土対策工事（仮換地、保留地）

汚染土対策工事費について、数量が確定し再精査した結果、事業費が増となるもの。

汚染土対策費 100,000千円

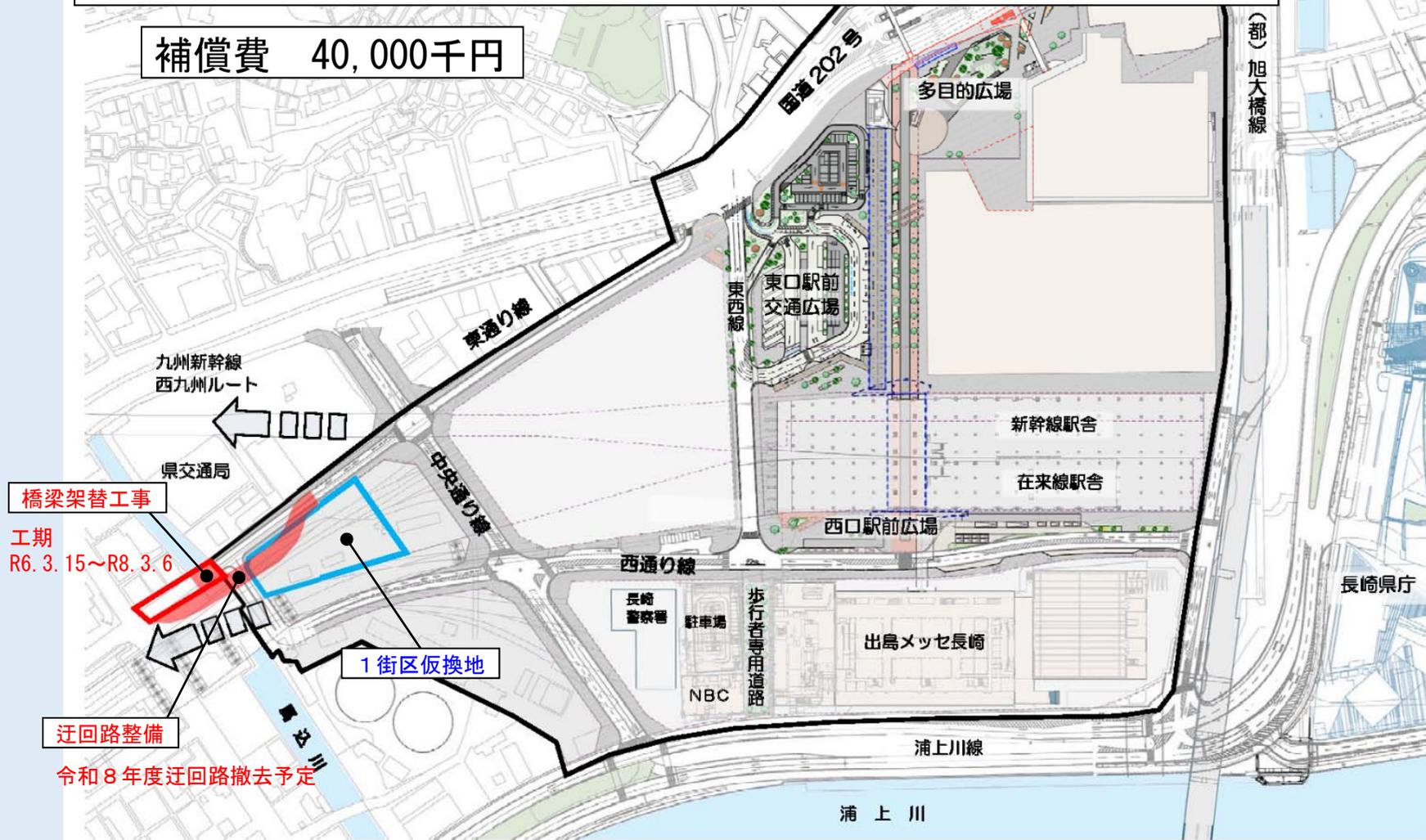


⑤ 移転補償(移転・損失補償)について

●仮換地を使用できない期間(補償期間)の延長

地元との協議により、1街区(仮換地予定地)を長崎駅東通り線橋梁架替工事に係る迂回路として使用する必要があるが、この間仮換地を使用出来ないため補償を行う(延長する)もの。

補償費 40,000千円



⑤ 移転補償(移転・損失補償)について

●移転補償 (ホテルニュー長崎の北側入口の上屋)

継続費設定時点では、ホテルニュー長崎の上屋については移転の有無が決まっていなかったが、協議が整い移転補償を行うこととなったもの

補償費 30,000千円



8 参考（年度別内訳(補正内容(主なもの))）

項目	当初	補正額						補正額計	補正後
		R4	R5	R6	R7	R8			
①道路改良工事	360,000	223,088	-	10,374	96,773	78,265	408,500	768,500	
労務費・資材単価の上昇		16,253	-	2,868	21,798	70,390	111,309		
夜間工事の実施		5,835	-	7,506	-	-	13,341		
週休二日制の導入		-	-	-	2,975	7,875	10,850		
電力ケーブルの移設		183,000	-	-	72,000	-	255,000		
仮舗装の実施		18,000	-	-	-	-	18,000		
②広場整備工事	3,015,677	43,910	190,521	427,615	272,929	153,726	1,088,700	4,104,377	
労務費・資材単価の上昇		23,910	175,713	287,274	227,720	133,388	848,004		
夜間工事の実施		-	14,808	4,611	13,304	9,313	42,036		
週休二日制の導入		-	-	-	31,905	11,025	42,930		
仮舗装の実施		20,000	-	-	-	-	20,000		
污水管移設工事		-	-	135,730	-	-	135,730		
③サイン等設置工事	211,100	924	1,157	653	26,305	80,160	109,200	320,300	
労務費・資材単価の上昇		924	1,157	653	8,087	31,104	41,925		
週休二日制の導入		-	-	-	2,275	-	2,275		
PR空間整備		-	-	-	15,943	49,057	65,000		
④汚染土対策工事	58,000	-	-	-	100,000	-	100,000	158,000	
⑤移転補償	340,000	-	-	-	35,000	35,000	70,000	410,000	
1街区仮換地		-	-	-	5,000	35,000	40,000		
ホテルニュー長崎		-	-	-	30,000	-	30,000		

予算説明書【繰越明許費】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
44～45	8 土木費	5 都市計画費	7 県施行事業費 負担金	JR長崎本線連続立体交差事業費	千円 286,250

1 事業費及び財源内訳

区分	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
補助分	予算現額	千円 337,500	千円 —	千円 —	※1 千円 303,700	千円 —	千円 33,800
	支出予定額	236,250	—	—	212,600	—	23,650
	繰越明許額	101,250	—	—	91,100	—	10,150
旧地方特定 道路整備 事業費分	予算現額	228,790	—	—	※2 205,400	—	23,390
	支出予定額	43,790	—	—	38,900	—	4,890
	繰越明許額	185,000	—	—	166,500	—	18,500
繰越明許額合計		286,250	—	—	257,600	—	28,650

※1 公共事業等債 充当率90%(交付税措置率22.2%)

※2 一般単独・地方道路等整備事業債 充当率90%(交付税措置率—%)

2 事業概要

- ・事業区間 2,480m
- ・総事業費 約529億円
- ・事業期間 平成21年度 ~ 令和6年度
- ・進捗率 約98%(令和6年3月末)

3 繰越事由

夜間工事の実施にあたり、騒音・振動対策にかかる地元協議に時間を要したことにより、事業が年度内に完了しない見込みであるため。

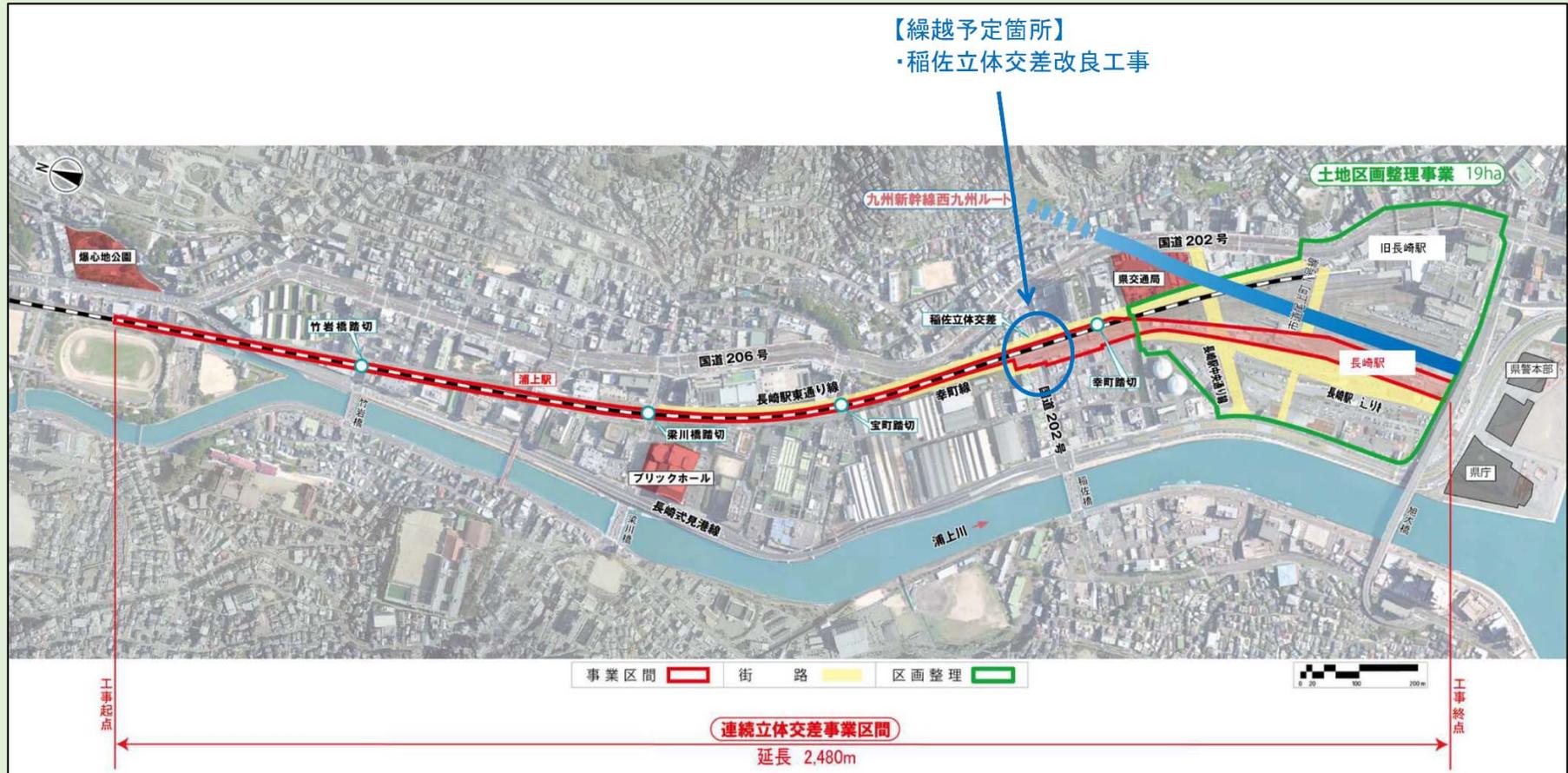
繰越箇所の完了予定時期 令和7年9月

4 事業スケジュール

項目	令和6年度	令和7年度
稲佐立体交差改良工事	●————●	●————●
	●-----●	●-----●

●————● : 当初 ●-----● : 変更(繰越)

5 位置図等



JR長崎本線連続立体交差事業(松山町～尾上町)平面図